

赤十字 NEWS in 徳島

赤十字の人道活動は皆様方の
日本赤十字社活動支援費(日赤社費)で行われています
ご協力をお願いします

第33号
平成27年7月
発行

発行所 日本赤十字社徳島県支部
〒770-0044 徳島市庄町三丁目12番地1
TEL 088-631-6000
FAX 088-631-6100
URL <http://www2.tcn.ne.jp/~jrcawa1/>



看護服や救護服を着て、心肺蘇生にチャレンジ

なぜ5月は 赤十字運動月間なの?



5月には赤十字にとって大事な日が2つあるんだ。

1つは、赤十字を創ったアンリー・デュナンの誕生日（5月8日）。

もう1つは、日本赤十字社が生まれた日（5月1日）なんだ。

だから赤十字では5月を「赤十字運動月間」にして、全国各地で赤十字を知つてもらうイベントをしているんだよ。

もちろん、年間を通じて赤十字はいろいろな活動をしています！

その活動は、みなさまからいただいている日本赤十字社活動支援費で行われています。



ハートラちゃん 日本赤十字社の公式マスコットキャラクター



昨年5月8日の世界赤十字デーに、日本赤十字社の公式マスコットキャラクター「ハートラちゃん」が誕生しました。

「苦しんでいる人を救いたい」という強い思いで、ハートランドの森からやってきたハートラちゃん。

今後、日赤の活動を皆さんに広く知ってもらえるよう頑張りますので、ハートラちゃんをどうぞよろしくお願いします。

他にも板東俘虜収容所跡に設置した「赤十字ゆかりの地モニユメント」に関する人道紙芝居の上演や健康チエック、赤十字クイズ、また子どもたちに人気のパズルやぬりえ、バルーンアートなどにも買い物中の家族連れらが次々と訪れ、1日で延べ1186名もの人々が赤十

字に触れ、会場いっぱいに笑顔が広がりました。看護服を着て救急法を体験した子どもは、「AEDで人が助けられることが分かった。これからもっと練習して将来は看護師さんになりたい。」と目を輝かせていました。



親子で赤十字マークや「ハートラちゃん」のパズルに挑戦

「赤十字、わくわく、ひろば」初開催！

赤十字運動月間中の5月10日（日）、親子で楽しみながら赤十字活動への理解促進を図ることを目的として、板野郡北島町のフジグラン北島で「赤十字わくわくひろば」を初めて開催しました。

会場には、楽しみながら赤十字を身近に感じられる10の体験コーナーを設置。救急法や無線機の体験コーナーには、救護員や看護師になりきったキッズたちが登場し、楽しみながらAEDの使用方法を学んだほか、無線機の通信に挑戦する姿も多数見られました。

「赤十字展示コーナー」を新設

赤十字運動月間がスタートする5月1日、「赤十字展示コーナー」の当支部玄関ホールへの開設を告げるオープニングセレモニーを開催しました。

展示コーナーには、明治時代の日赤最初の看護衣や救護本部を示す赤

十字提灯など、歴史的な資料

展示のほか、現在、当支部が各

地域に配備を進めている災害用移動炊飯器なども展示しています。

式典では、飯泉嘉門支部長はじめ、元赤十字従軍看護師である鈴江敏子氏ら5名によってテープカットが行われると



支部長を囲んでテープカット

命を救え！ドクターカー

救急部長 福田 靖

会場が大きな拍手に包まれました。
式典後、展示ルームを見学した参加者は、「当時の救護

ドクターカーとは、病院にいる医師・看護師が、重症患者様に少しでも早く診察を始められるよう、緊急車両に乗って出向いて行く、いわば「医療者のデリバリーシステム」です。

本院では、病院から病院の施設間搬送だけでなく、119番通報を受けて出動した消防機関からの医師派遣要請にも応えられるよう、本年4月1日より平日の午前9時から午後5時の間、「ドクターカー」の運用を開始しました。

病院到着までに患者様を診察し、現場で必要な処置や薬剤投与ができるとともに加え、病院到着後の血液検査、CT・MRI検査や処置などを事前に連絡、指示することで素早い対応が可能です。

また、ドクターカーはドクターへりが困難な悪天候でも出動でき、患者様との接触に場所を選びません。「救命率の向上」「後遺症の軽減」のため、要請を受けてすぐに駆けつけることができるよう、スタッフは常にスタンバイしています。



ドクターカーを背に救急部の福田部長(左)と吉岡副部長(右)

知っていますか？ 徳島赤十字乳児院

徳島赤十字乳児院は、さまざまな事情から家庭で育てることが難しい乳幼児

を24時間体制であざかり、養育している県内唯一の施設です。保育士や心理士、家庭・里親専門相談員などの専門スタッフが連携し、子どもと家族が安心して暮らすためのお手伝いをしています。

また、仕事や家庭の都合でやむを得ず子どもを見ることができないときに、地域の方々が気軽に活用できる子育て支援「病児・病後児保育」や「ショートステイ」も行っています。

子育てについてお困りのことがあれば、徳島赤十字乳児院（電話0885-32-0555）までご連絡ください。



ひのみね 新たなスタート

この度、
4月1日をもって、徳

島赤十字ひのみね総合療育センターが「徳島赤十字ひのみね総合療育センター」と「徳島赤十字障がい者支援施設ひのみね」の2つの施設になりました。

4月に新しく就任した中津忠則園長のもと、障がいのあるすべての人たちに愛されるオンリーワンの施設を目指して頑張ります。



徳島赤十字病院の診療科等をご紹介するシリーズ「徳島赤十字病院」。今回は、さらなる救命率向上のために、本年4月1日から運用を開始した「ドクターカー」です。

青少年赤十字 「まもるいのち ひろめるぼうさい」



青少年赤十字
防災教材

青少年赤十字では、本年度から、防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」を活用した防災教育に取り組んでいます。

この教材は自然災害に向き合ってきた日本赤十字社と現場の教員が提案し、児童・生徒が発達段階に応じて主体的に取り組めるよう青少年赤十字の態度目標「気づき・考え・実行する」を重視したものとなっています。

5月1日、徳島県教育委員会主催の学校防災研修会で、日本赤十字社から「まもるいのち ひろめるぼうさい」の活用方法等を説明し、各学校へ配布しました。



青少年赤十字の防災教材を体験する教員

このような活動も行っています

■板東俘虜収容所と赤十字の関係を描いた人道紙芝居「ばんどうのコスモス」の上演活動



■赤十字活動支援自販機やチャリティボックス（募金箱）の設置活動



■社会貢献への“思い”など（遺言や相続財産によるご寄付、香典返しに替えてのご寄付等）の受け入れ

詳しくは、日本赤十字社徳島県支部（TEL:088-631-6000）までお問い合わせください。

地域に根ざした奉仕団活動

赤十字奉仕団黒崎分団が炊き出し訓練を実施し、災害時の炊き出し方法を確認しました。



鳴門市黒崎地区（5月26日）

赤十字奉仕団佐古分団が赤十字人道紙芝居を披露し、赤十字精神の普及を図りました。



フジグラン北島（5月10日）

万一の自然災害や事故等に備え



迅速に負傷者の手当を行う救護員

5月23日、今年度任命された救護員63名が、救護活動で必要な技術の習得を図るために徳島赤十字病院で訓練を実施。

災害時に救護所として使用するフレーム一体式大型テントの設営や衛星携帯電話等の取り扱いを確認しました。



寒冷地でも威力を発揮する救護テント

3月12日、徳島阿波おどり空港の航空機事故総合訓練に当支部の医療救護班が参加。

機体トラブルで緊急着陸後に炎上し、多数の負傷者が発生したとの想定で訓練が行われ、重症患者を中心に的確な救護を実施しました。

災害時の「食」の確保を図るために

南海トラフ巨大地震等の大災害に備え、当支部創立120周年を迎えた平成19年から赤十字有功会や企業の協力を得て取り組んでいる災害用移動炊飯器の設置活動。

現在も県内各地への配備を積極的に進めしており、これまでに158基を設置するとともに地域の炊き出しリーダーとなる「炊き出しふー」の養成も行っています。



宮崎商事様（右）からの10基目は、阿南市桑野公民館へ設置しました

あなたも、赤十字活動支援費にご協力ください

南海トラフ巨大地震等の発生が懸念されている今日、災害救護活動をはじめとする赤十字の人道活動が停滞しないよう、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。
ぜひ、この機会に下の振込用紙（振込手数料は無料、金額は任意）で、お近くの阿波銀行、徳島銀行からご協力いただければ幸いです。

※ 赤十字への寄付金は、税法上の優遇措置が適用されます。※ この振込用紙は阿波銀行・徳島銀行の本店・全支店で使用できます。

+ 赤十字活動支援費領収証

+ 振込ご案内

+ 普通預金入金票 赤十字寄付金

二 本票をもつて日本赤十字社徳島県支部の領収証とさせていただきま
すのでよろしくお願いします。
この領収証は大切に保存して下さい。
三 右記取りまとめの本支店ご利用の場合は手数料免除となります。

金額	※	百万	千	円
取りまとめ店	阿波銀行 鮎喰支店			
受取人	徳島銀行 加茂名支店			
住所・氏名	日本赤十字社徳島県支部			
ご依頼人	様			
取扱店	平成 年 月 日			
(法人)	銀行 支店			
この領収証記載の金額は法人税法第37条第4項の規定に基づく寄付金に該当します。				
(個人)				
この領収証記載の金額は所得税法第78条第2項第3号の規定に基づく特定寄付金に該当します。				

金額	※	百万	千	円
取りまとめ店	阿波銀行 鮎喰支店			
受取人	徳島銀行 加茂名支店			
住所・氏名・連絡先人	様 (TEL: - - -)			
赤十字寄付金用 上記のとおり払込を取扱いましたからご通知いたしました。				
コード番号				

取及び 取りまと め店番 座号	阿波銀行 鮎喰支店 (普) 0233304			
金額	※	百万	千	円
受取人	徳島銀行 加茂名支店 (普) 1756682			
住所・氏名	様			
取扱店	平成 年 月 日			
(法人)	銀行 支店			

内訳	現金	当店券	検印
出納印			
記帳			
振者			

（振込人）

（取りまとめ店→受取人）

（取扱店→取りまとめ店）



人間を救うのは、人間だ。 日本赤十字社 スローガン

平成26年度 28,583人献血

ありがとうございます!



28,583人のご協力…実は28,583回のご協力のこと、本当の献血者数は17,698人なのです。そのうち、およそ約68%の方が年1回のご協力となっています。献血は、1年間に複数回ご協力いただけます。あと、1回のご協力が慢性的な血液不足を一気に解消します。ぜひあともう一回、献血をお願いします。

年間献血回数 ★400mL 献血 男性年3回以内 女性年2回以内
★成分献血 血小板成分献血1回を2回分に換算して
血漿成分献血と合計で24回以内

【実献血者数】
年間 17,698人
28,583人

年1回の方
12,000人(67.8%)
年2回以上の方
5,698人(32.2%)

次回の献血可能日は
献血カードをご覧ください。



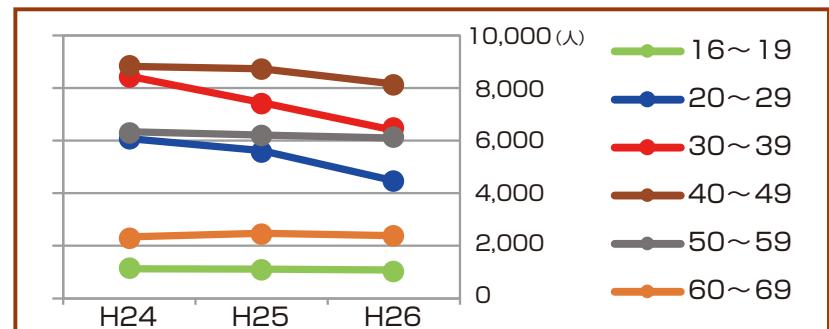
<ピンチ!> 特に20~30代 献血者の減少続く

日本赤十字社が実施した血液需給将来統計シミュレーションでは、現在の献血率のまま少子高齢社会が進むと、需要がピークを迎える平成39年(2027年)には、献血者約85万人分の血液が不足することが予測されています。

この先も、「安全な血液を安定的に」医療機関へお届けするためには、献血をご協力いただける方を増やさなければいけません。この不足分を補うため、特に若い世代の積極的な献血が求められています。

しかし、徳島県では特に20代、30代の献血者が大きく減少しているのが右の表からわかります。

年代別献血者数の推移(徳島県)



若者献血率74%! アニメでアピール「マチ★アソビvol.14」献血

5月3~5日に行われたアニメイベント「マチ★アソビ」。献血バスと献血ルームでまたまたコラボしました。今回の記念品は、ufotable制作の人気アニメ「Fate/stay night [Unlimited Blade Works] × 献血」特製ポスター2枚組。天候にも恵まれ、3日間で合計512名の方に献血のご協力をいただき、その内なんと約74%が10~30代の若者でした。献血離れが進む若い世代にアピールするため平成24年からこのイベントで献血を呼びかけています。リピーターの方も、初めての方も、献血ありがとうございました!



複数回献血クラブ会員募集中!!

血液の不足状況、献血バス、各種イベント情報は、
ホームページで

血液が不足したときなどにメールで献血を呼びかけ、血液の安定供給を図るためのクラブです。成分献血・400mL献血にご協力いただける方は、ぜひ会員登録をお願いします。

- メールはこんなときに
 - ・献血のお願い
 - ・献血に関する最新情報やお知らせ
 - ・イベントやキャンペーンのご案内

登録方法

右のQRコードを読み取るか、
abo@kenketsu.jpに
空メールをお送りください。



●定期献血バス

- ・マルナカ徳島店 偶数月の第1土曜日
- ・ゆめタウン徳島 毎月第3日曜日
- ・フジグラン北島 每月第4土曜日

<http://www.tokushima.bc.jrc.or.jp/> または、

徳島県赤十字血液センター

検索

©TYPE-MOON·ufotable·FSNPC

<日本赤十字社徳島県支部管内の赤十字施設をご案内します>

・日本赤十字社徳島県支部事務局
・徳島赤十字ひのみね総合療育センター
・徳島赤十字乳児院

徳島市庄町3丁目12-1 TEL:088-631-6000 ・徳島赤十字病院 小松島市小松島町字井利ノロ103 TEL:0885-32-2555
小松島市中田町新開4-1 TEL:0885-32-0903 ・徳島県赤十字血液センター 徳島市庄町3丁目12-1 TEL:088-631-3200
小松島市中田町新開2-2 TEL:0885-32-0555